

Q4i FPV

2.4GHz 4ch Multicopter First Person View

日本語取扱説明書



対象年齢15歳以上

ご使用前に本書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください

Copyright © 2015 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved. www.hitecrcd.co.jp

Ver.20151116S

目次

はじめに.....1	各電池の使用可能時間.....5
安全の為の注意事項.....1	バインド方法.....6
内容物一覧.....3	機体の操作方法.....7
機体各部名称.....3	スマートフォンホルダーの取付.....8
送信機各部名称.....4	Wi-Fiカメラの使い方.....9
送信機への乾電池の入れ方.....5	分解図/パーツリスト.....11
充電の仕方.....5	故障かなと思ったら.....12

1. はじめに

この度はWEEKENDER Q4i FPV製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
本機体は優れたセンサーにより安定したホバリングが可能です。そのため本機体は初心者の方でも少しの練習ですぐに飛行を楽しんでいただけます。
また、安定性だけでなくフリップのようなアクロバット飛行や、スマートフォンを装着してFPV（リアルタイム映像）を見ながらフライトが出来るなど、レベルを問わず多くの方に楽しんでいただけるよう設計されております。

【ご購入頂きましたお客様に重要なお願い】

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は2週間以内の初期不良対応をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管していただきますようお願い申し上げます。
当製品は製品の性質上、ご購入直後の動作確認時に認められる不良以外、返品・交換はお受けすることが出来ません。あらかじめご了承ください。

2. 安全の為の注意事項

当製品は対象年齢15歳以上のホビー製品となっております。15歳未満のお子様には使用させないで下さい。
フライトには周囲の安全に最大限配慮し、常に墜落やロストなどの万が一のリスクを考慮してフライトして下さい。
また、周囲の人物以外にも建物や自動車、列車や航空機、高圧線や電線が無いことも必ず確認していただき、公共の場所やRC製品の使用が禁止されている場所でのフライトは絶対におやめ下さい。
ラジコンのご経験が無い方、または初心者の方は経験豊富な指導者の下でフライトを行って下さい。




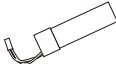

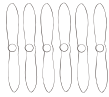

本製品は屋外でもお楽しみいただけますが、微風程度の環境に適しています。
物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアでフライトを行って下さい。
（事前にラジコン飛行機が許可されている場所であるか必ず確認して下さい。）

突発的に起こる事象を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。

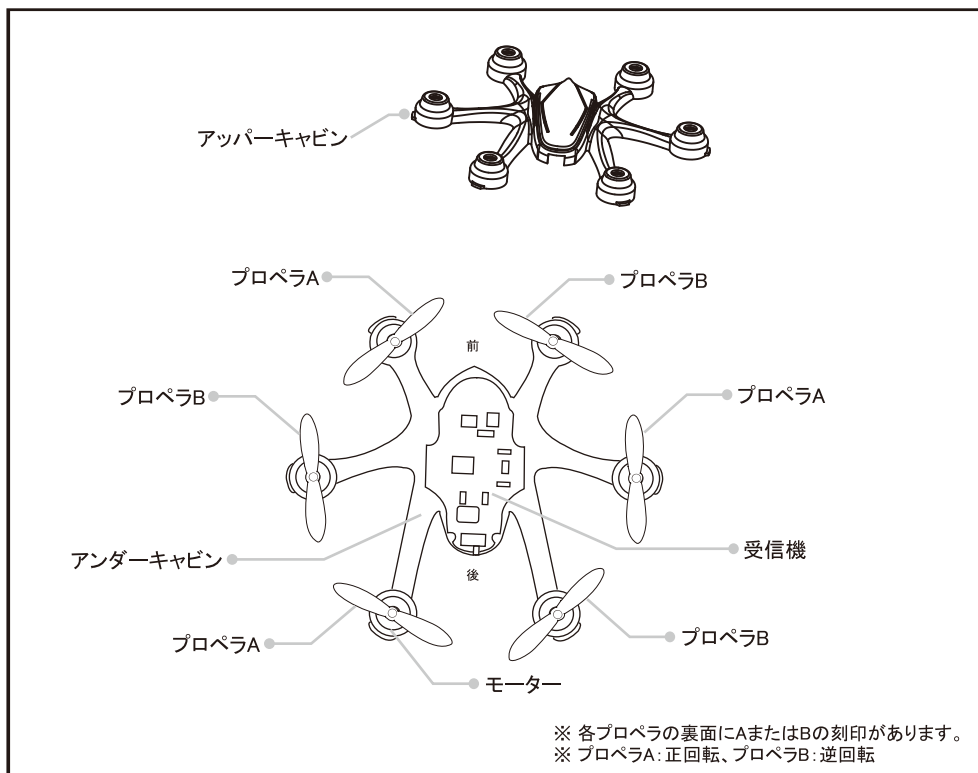


<p>当製品は精密な電子部品で構成されております。</p> <p>本体内部の水分は電子部品やメカ類に悪影響を与え誤動作を引き起こす原因となる為、湿気や水濡れは厳禁です。</p> <p>雨の中での使用は勿論、保管の際も湿気にはご注意ください。</p>	
<p>当製品は純正状態以外への改変・改造は行わないで下さい。</p> <p>修理の際も必ず純正パーツを使用するようお願いいたします。</p> <p>初心者の方はなるべく単独で作業などを行わず、経験豊富な指導者の指示を仰いで下さい。</p>	
<p>乾電池を入れる際は必ず極性(+)・(-)を確認してください。</p> <p>新/旧残量の異なる電池や、違う種類/ブランドの電池を混ぜないで下さい。誤動作の原因となります。</p> <p>長い間使用しない場合は電池の液漏れを防ぐ為、乾電池は取り外して下さい。</p> <p>少しでも液漏れしてしまった乾電池は使わず、お住まいの自治体のルールに則り廃棄をお願いします。</p>	
<p>リポバッテリーを安全に取扱う上での重要事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過放電を防ぐ為、電圧低下のサインやパワー感の低下が現れましたら使用はやめてすぐに充電して下さい。 2. 必ず専用充電器のみで充電いただき、機体以外での放電は行わないで下さい。 3. 当製品付属のリポバッテリーは当製品専用です。他の用途には使用出来ません。 4. バッテリーに変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。 5. バッテリーは絶対に分解・改造しないで下さい。 6. 過放電バッテリーを無理に使うと最悪、破裂/出火等の危険性が伴いますので絶対に使用しないで下さい。 7. リポバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。 <p>充電時の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 充電する前には必ずバッテリーに膨らみや異臭が無いが確認して下さい。 2. 充電時は機器から可燃物を遠ざけ、常にその場から離れず異常事態に備えて下さい。 3. 万が一充電中にバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止して下さい。 膨らんだバッテリーは使用出来ません。 4. リポバッテリーにはメモリ効果が無い為放電作業の必要が無く、追充電で使用可能です。 5. 充電完了後は、必ず充電器から抜いて下さい。 6. 充電は電池温度が0～30度の範囲で行って下さい。 <p>機体がクラッシュ(墜落)した場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。 2. 強い衝撃を受け、変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ません。 <p>バッテリーの保管・保存</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機体から外し、端子間がショートしないよう配慮し、不燃性のケースに収めて下さい。 2. 保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つ為10～45度の範囲内での保管をお勧めします。 25度前後での保存が最も適しており、性能を保つことが出来ます。 3. 長期保存の場合は満充電で保管せず、50～70%程度の充電量にして下さい。 その後は1ヶ月一度、充電→50～70%まで減らす作業を繰り返して下さい。 <p>バッテリーの廃棄</p> <p>3%～5%位の濃度の食塩水に約2週間程度沈めて放電し、容量がゼロになっていることを確認してからお住まいの地方自治体のルールに則り廃棄をお願いします。</p>	
<p>本製品は主にプラスチック製となっております。</p> <p>プラスチックは極端な熱さや寒さに晒されると損傷や変形が出てしまいますので、ヒーター等熱源の近くや屋外で保管しないようにして下さい。</p>	
<p>免責事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社はお客様のフライトにおける損失、事故等にはいかなる補償も致しかねます ・組立飛行後における製品の不良対応はお受けすることが出来ません ・誤った使用における製品の不具合は保証対象外となります ・当製品は品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合があります、予めご了承下さい 	

3. 内容物一覧

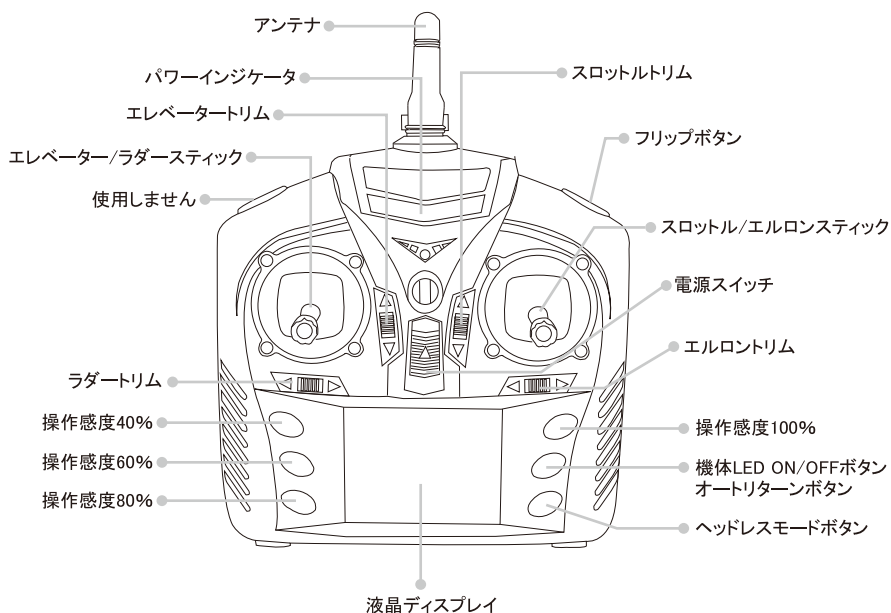
				
日本語取扱説明書	機体	送信機	バッテリー	USB充電器
				
予備プロペラ	スマートフォンホルダー			

4. 機体各部名称

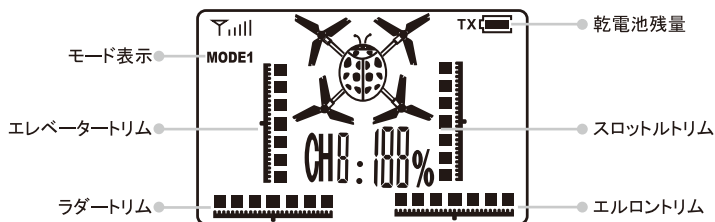


5. 送信機各部名称

【MODE1】

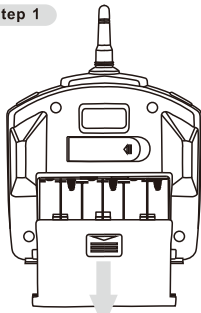


【液晶表示】



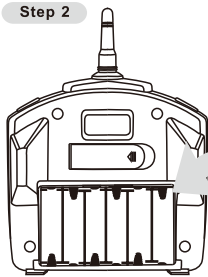
6. 送信機への乾電池の入れ方

Step 1

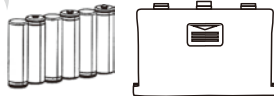


電池カバーの“OPEN”を押しながら下に引き抜きます。

Step 2

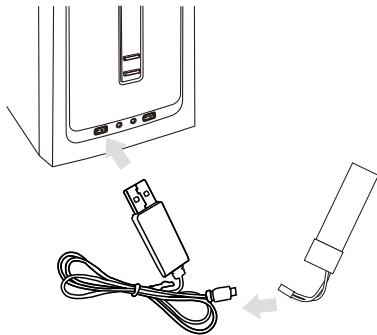


アルカリ単3乾電池 6本
(別売品)



＋－の極性を合わせて乾電池を入れて下さい。
その後カバーを元に戻します。しっかりと爪が噛み合う位置まで戻して下さい。
新/旧残量の異なる電池や、違う種類/ブランドの電池を混ぜないで下さい。
誤動作の原因となります。

7. 充電の仕方



バッテリーを USB 充電ケーブル挿し、その後パソコンまたは他の USB 機器に充電ケーブルを接続してください。
充電中は LED が消灯し、完了したら点灯となります。

充電完了までの目安としては 70 ～ 90 分となりますが、
接続する USB 機器によって時間は異なります。

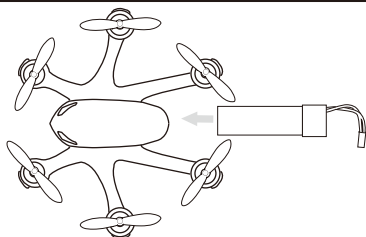


充電中は側から離れないで下さい。
バッテリー、充電器ともに必ず純正品をお使い下さい。

8. 各電池の使用可能時間

バッテリータイプ	バッテリー仕様	使用可能時間	充電時間
リチウムポリマー バッテリー	1S/3.7V 500mAh x1	機体フライト時間: 約4分 (※バッテリーや環境により異なります)	約70～90分 (※機器により異なります)
アルカリ乾電池	1.5V x6	送信機使用時間: 約18時間 (※バッテリーにより異なります)	

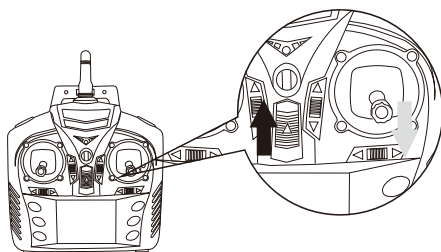
9. バインド方法



Step 1

機体にバッテリーを挿入し、コードを繋ぎます。
その後はなるべく水平な場所に置いて下さい。

機体のLEDが点滅している間は機体を動かさないで下さい。

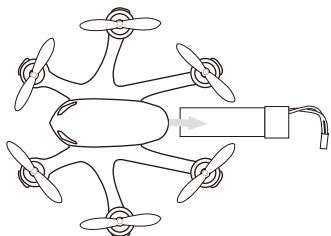


Step 2

スロットルスティックを一番下にさせてから電源を入れます。

送信機から連続したピーブ音が鳴ります。

最後に"ピッ"と高い音が鳴り機体のLEDが点灯に変わればバインドは完了です。

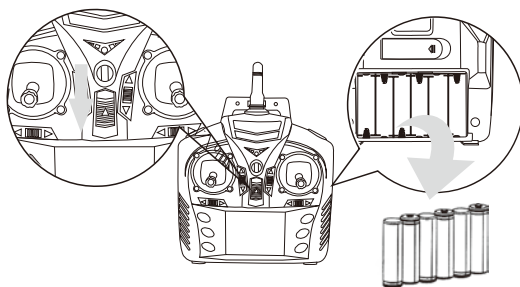


フライト後は

必ず機体からバッテリーを取り外して下さい。

機体に接続されたままのバッテリーは放電が進み、過放電状態となると深刻なダメージを受け使うことは出来なくなります。

膨張/破裂、最悪出火などの可能性もありますので、必ず外すようにお願いします。



送信機も必ず電源を切って下さい。

また、長い期間保管する場合は液漏れを防ぐ為、送信機から乾電池を抜いて下さい。

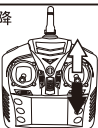

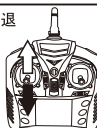

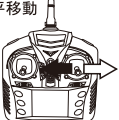


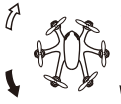
10. 機体の操作方法

ラジコン飛行機に不慣れな方はこれからの説明をお読みいただき、操作方法を正しく理解するまで飛行は行わないで下さい。



- 1: 屋外で機体がある一点に置き、段階的に自分が離れて行き、遠く離れた時に機体のシルエットで前後左右どう向いているかが判断出来るようになって下さい。
- 2: 以下の図で示す各スティックに割り当てられている動きを覚え、想定した操作をスティックで確実に出来るようになって下さい。

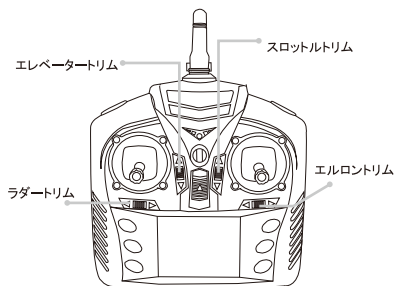


操作	機体の動き	操作	機体の動き
上昇・下降 		前進・後退 	
左右水平移動 		左右回転 	

フライト毎に必ず以下の項目をチェックして下さい

1. 送信機と機体のバッテリー容量がフライトに十分な量まで確保されているか確認して下さい。
2. 各プロペラに異常がないか慎重に確認して下さい。
緩みや折れ曲がりのあるブレードは絶対に使用しないで下さい。
3. バッテリーがしっかりと本体に収納されているか確認して下さい。
正しく収納されていないと飛行中の振動で抜けてしまう可能性があります。
4. 電源を入れるときは、必ず記載のバインド方法を守って下さい。
この方法を守らないと他の電波により暴走の可能性がありますので大変危険です。

トリム調整



機体が空中でどちらかの方向に流される場合、このボタンを使い微調整して下さい。

機体を床から50cmくらい浮上させ、ホバリング状態で機体がどのように動くか確認します。
その機体が動く方向とは逆にトリムを動かすことで調整します。

※トリム調整行っても厳密な空中静止は仕様上出来ません。
※機体が地面に近すぎると自身が出す風の影響で動いてしまいますので、正しい調整は行えません。

フリップ(宙返り)

1. 送信機右上のフリップボタンを押します。
 2. 送信機から連続したピープ音が鳴りますので、音が鳴っている最中に回転したい方向へ舵を切って下さい。
- ※ バッテリーの電圧が低い時はフリップすることが出来ません。

ヘッドレスモード

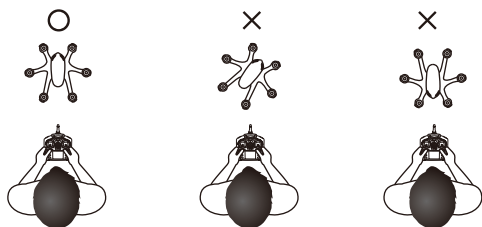
通常、操縦者は機体の向きの考慮して操作を行います。ヘッドレスモードを用いると機体が向いている方向に関係なく、操縦者から見た前後左右で機体が動くようになります。

1. ヘッドレスモードを使用する場合は、送信機を水平に持ち、機体と送信機が一直線に並び同じ方向を向いた状態でバインド行って下さい。(下図参照) また、ヘッドレスモード中は送信機を水平に保って下さい。
2. 送信機のヘッドレスモードボタンを2秒間押し続け、音が鳴ったら離します。
3. ヘッドレスモード中は音が鳴り続け、機体のLEDは点滅します。この状態から離陸して下さい。
4. 再度ヘッドレスモードボタンを2秒間押し続けることで音が止み、ヘッドレスモードを終了します。

オートリターン

飛行中機体が遠くに行ってしまった、姿勢が分からなくなり操縦が困難になった場合は以下の操作で機体を操縦者の近くに戻すことができます。

1. オートリターンを使用する場合は、送信機を水平に持ち、機体と送信機が一直線に並び同じ方向を向いた状態でバインド行って下さい。(下図参照) また、オートリターンを使用する時は送信機を水平に保って下さい。
2. フライト中 送信機のLED ON/OFFボタンを2秒間長押しして下さい。
3. オートリターン動作中は舵を動かすことでキャンセルできます。



本機能は送信機と機体に搭載されている電子コンパス(地磁気センサー)で行っております。以下のような場所では地磁気が弱く機能が正常に機能しない可能性がありますのでご注意ください。

鉄骨製の倉庫
機器の多い室内
鉄塔の近く

鉄筋ビルの室内
都心のビル街
金属等の導電性の床

11. スマートホンホルダーの取り付け



1. 送信機裏側の穴へ台座部分を差し込みます。
2. ビス穴が合うように前からホルダー部分を取り付けます。
3. 後ろからビスで固定して下さい。

12. Wi-Fiカメラの使い方

アプリのインストール

お手持ちのスマートフォンへ対応アプリケーションをインストールします。

- ①各ストアよりアプリの名称“ WL_UFO ”で検索してインストールして下さい。



Wi-Fi接続

SSIDについて

- ② スマートフォンのWi-Fi設定画面を開き、SSID：WL_数字（例 WL_2014b1701c2）に接続して下さい。



← WiFi SSID 参考画像

※ SSID の数値部は機体ごとに異なります。

アプリの操作

機体と送信機のバインドを行い、フライト可能な状態にして下さい。


アプリ画面について

アプリ起動時画面


※こちらのアイコンは本製品では使用しません。

誤ってタッチしてしまった場合は
このアイコンでOFFにします



- ③ のアイコンについて

このアイコンは本製品では使用しません。タッチしてしまうと画面のスロットルスティックはセンターに保持されてしまいモーターが回転したままとなり機体が勝手に上昇してしまいますのでご注意ください。

もし誤って  アイコンをタッチしてしまった場合は画面右側から2番目の「ON/OFF」アイコンを OFF にして頂くことで停止できます。

④このアプリはスマホだけでなく機体の操縦が可能になります。

送信機で操縦できるように既にバインドされていてもスマホ画面の「ON/OFF」アイコンでスマホでの操縦が優先されます。

スマホでの操縦を解除するには「ON/OFF」アイコンを OFF にしてください。送信機で操縦可能に戻ります。

※操作をスマホから送信機へ変更する場合、スロットルが最小になっていることを確認してください。

左側から2番目のアイコンをONIにします

ONIになると画面にコントローラー部が表示されます。
※画像はMODE2になります。



スマホのコントロールは MODE 1・2 への変更が可能です。

MODE変更を行う場合このアイコンをタッチします。

Right Hand ModeをON(チェック)にするとMODE1に変更されます



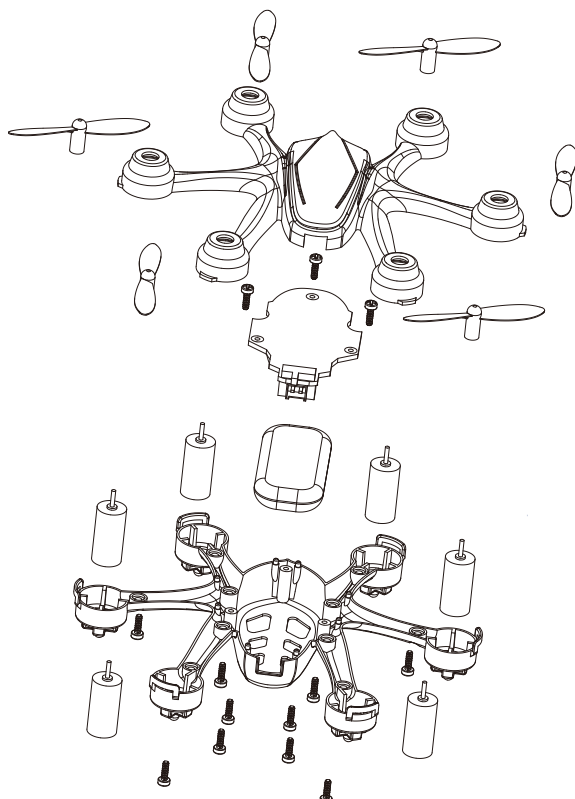
⑤送信機 LCD 画面表示について「MODE2」

本製品の送信機の操縦系は MODE1 仕様です。

送信機 LCD 画面右上に「MODE2」の表示となっておりませんが、送信機プログラムの仕様上この表示が正しい状態となっています。



13. 分解図 / パーツリスト



品番	品名	備考
WE-FPV-02	アッパーキャビン	
WE-FPV-03	アンダーキャビン	
WE-FPV-04	バッテリーボックス	
WE-FPV-05	LEDカバー	
WE-FPV-06	ブレードセット	赤x2、黒x4
WE-FPV-07	スキッドセット	1組
WE-FPV-08	リポバッテリー	
WE-FPV-09	受信機	要ハンダ付け作業
WE-FPV-10	逆回転モーター	黒白コード
WE-FPV-11	正回転モーター	赤青コード
WE-FPV-12	USB充電ケーブル	

※ 詳細は弊社WEBサイトをご確認下さい。

14. 故障かなと思ったら

当製品につきましては工場出荷時に検品を行っておりますが、万一ご購入直後の動作確認時に不良があった場合やご不明な点があった場合には誠に恐れ入りますが、下記の弊社カスタマーサポートへご連絡頂けますようお願い申し上げます。また、技術的なご質問につきましては「お問い合わせフォーム」にてお願い致します。

カスタマーサポート窓口

サポートダイヤル : 050-5519-4989 (平日 10:30 ~ 12:30 / 13:30 ~ 16:30)

メールフォーム : <http://hitecrod.co.jp/mailform/>

(サポートダイヤルは混雑の為つながりにくい場合がございます。その場合はメールフォームもご利用下さい。)

なお、お客様より弊社へ初期不良品をお送り頂く場合は【ヤマト運輸着払い】にてお送り頂けますようお願い申し上げます。ヤマト運輸へ直接お客様よりご連絡をいただき、集荷のご依頼をお願い致します。各営業店のセールスドライバーがお客様の自宅まで集荷に伺います。

ヤマト運輸サービスセンター 0120-01-9625 または 03-6733-8888 へご連絡を頂ければ集荷手配が可能です。

■初期不良の場合の簡単な流れは以下の通りとなります。

Step1 : 恐れ入りますがご購入直後に製品の動作確認(マニュアルをご参照ください)をお願い致します。

Step2 : 万一商品が正常に動かない場合は「お問い合わせフォーム」または「電話」にて弊社へご連絡下さい。

Step3 : 段ボール等に製品元箱をお入れ頂き、メモ書きにて不良内容を添えていただき梱包をお願い致します。

Step4 : 弊社で製品を確認後、弊社判断で代替品への交換、または無償修理の上ご返送させていただきます。

下記の場合は初期不良対応とならない場合がございます、予めご了承下さい。

- ・動作確認(サーボの動きや各部動作)行わないままフライトし、破損してしまった場合
- ・未開封のまま2週間以上経過してしまった場合
- ・弊社へ事前にご連絡頂かずお送り頂いた場合
- ・梱包内容に欠品がある状態(LiPo バッテリー、充電器等)でお送り頂いた場合
- ・ご購入日付が分かるレシートなど証明書類(コピー可)を同封頂いていない場合

■有償修理ご依頼の場合の簡単な流れは以下の通りとなります。

Step1 : メモ書きにてなるべく詳細に症状・修理箇所ご記載頂けますようお願い致します。

Step2 : 段ボール等に製品元箱をお入れ頂き、不具合内容を書いたメモ書きを同梱の上、梱包をお願い致します。

Step3 : 弊社へ[お客様元払]にてお送りください。

Step4 : 弊社で商品を確認させて頂き、修理の上、ヤマト運輸商品代引にてご返送させていただきます。

※ 修理品を着払いでお送りいただいた場合は、修理代金に送料往復分 1,400 円(税別)を加算させていただきます。

※ 修理完了までには混雑状況により変動しますが、目安として2週間前後でのご返却となります。

※ 一部機構が複雑な製品は作業に時間を要する為、混雑状況によっては30日程度要する場合もございます。

※ 弊社販売分以外の並行輸入品、オークション品などは修理サービスを行っておりません。

■有償新品交換保証をご依頼いただく場合の簡単な流れは以下の通りとなります。

有償新品交換保証とは一部金額をご負担頂くだけで機体から付属品までを丸ごと新品と交換できる弊社独自の保証制度です。金額につきましてはモデルごとに異なりますので弊社HPをご確認ください。

Step1 : 段ボール等に製品一式と「新品交換保証希望」と書いたメモ書きを同梱の上、梱包をお願い致します。

Step2 : 弊社へ[お客様元払]にてお送りください。

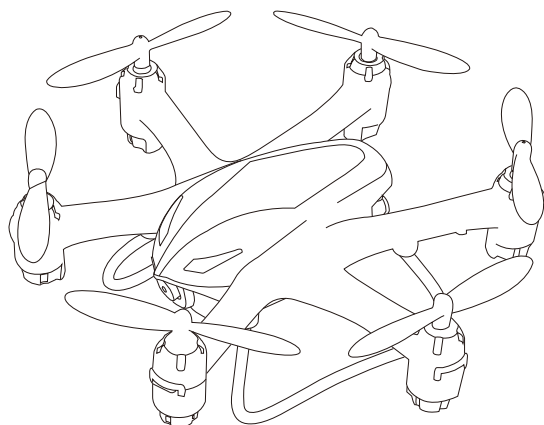
Step3 : 弊社で内容を確認させて頂き、代替品をヤマト運輸商品代引にてお届けします。

※ [機体、バッテリー、送信機、日本語取扱い説明書]の4点が必須となります。機体ロストの場合などは対象外となります。

※ 弊社販売分以外の並行輸入品、オークション品なども新品交換保証対象外となります。

※ 着払いでお送りいただいた場合は、新品保証金額に送料 700 円(税別)を加算させていただきます。

※ 機体の在庫状況や混在状況によりご対応が遅れる場合がございます。その場合は弊社からご連絡させていただきます。



HITEC
MULTIPLEX®

©輸入販売元・お問い合わせ
〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

サポートダイヤル: 050-5519-4989
メールお問合せフォーム www.hitecrd.co.jp/mailform/
受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)
10:30～12:30、13:30～16:30

当製品のお問い合わせはサポートダイヤルまでお願い致します
お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します